

# 平成24年度アクションプランの概要

平成23年7月8日

内閣府大臣政務官(科学技術政策担当)

阿久津幸彦

# 1. アクションプランの位置付け

- アクションプランのねらいは、府省間の壁を乗り越え、政府全体の科学技術予算の重点化を図ること。
- 第4期科学技術基本計画の特徴である「課題解決型」のイノベーションの推進を予算面で後押しするもの。
- 平成24年度は、昨年度（初めて実施）の予算編成プロセスの改革路線を継承しつつ、さらなる改革に向けて取組む

## 2. 平成24年度アクションプランの内容

### 4つの重点対象を設定

東日本大震災を  
踏まえた新たな  
柱として設定

復興・再生並びに災害からの安全性向上

- 東日本大震災からの復興・再生を遂げ、地域住民がより安全に暮らせる社会の実現を目指す。
- 東北地域の復興・再生をモデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を実現する国を目指す。

我が国の現状を  
踏まえて内容を見直し

グリーンイノベーション

- 自然と共生し持続可能な環境・エネルギー先進国の実現を目指す。

ライフイノベーション

- 心身ともに健康で活力ある社会の実現を目指す。
- 高齢者・障がい者が自立できる社会の実現を目指す。

新たに追加

基礎研究の振興及び人材育成の強化

- 世界共通の課題を克服し、豊かな国民生活を実現し、科学技術を文化として育み、多様な人材を育成確保する社会の実現を目指す。

## 重点化の方向性を明確化

総合科学技術会議が、  
アクションプランにおいて提示

各府省が、  
概算要求で具体化

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組

アクションプラン対象施策


アクションプランの対象施策は、総合科学技術会議が最も重要と考える「**トッププライオリティ**」の施策として位置づけ。

### 3. 各府省への依頼事項

- アクションプランの方向性に沿った施策の具体化と、平成24年度概算要求への反映。
- 予算の検討段階からの府省の壁を超えた緊密な連携
- 小規模施策の大括り化等による重要施策への重点配分など、省をあげての施策の大胆な見直しの推進。

# (参考) 検討スケジュール

※例年のスケジュールで概算要求が行われる場合の想定

